

後方視研究一覧

①

研究の名称	3種類の媒精方法(cIVF, Piezo, ASFI) の比較検討: Sibling Study
研究登録番号	6101-260226
研究機関名	京野アートクリニック高輪
研究責任者	京野アートクリニック高輪 医師部 京野 廣一
研究代表者	京野アートクリニック高輪 培養部 奥山 紀之
研究期間	実施許可日～2027年3月31日
利用または提供を開始する予定日	倫理委員会での承認以降
研究の背景	ASFI(Assisted Sperm Fusion Insemination)は先体反応惹起後の精子を卵子細胞膜に付着させ侵襲性の回避が可能であるが(Hatakeyama et al.,2025)、Piezo-ICSI や cIVF と成績を比較した報告はなく、適応症例や評価が十分でない。
研究の方法と意義	<p>【研究の方法】</p> <p>電子カルテ、データベース(ファイルメーカー)に記録されている、手術記録、採卵・媒精・胚発育・移植の結果をデータ収集して解析を実施する。</p> <p>【研究の意義】</p> <p>ASFI の臨床成績を調査することにより、治療選択の拡大に繋がる可能性が考えられる。</p>
研究対象者	2025年5月から11月に18症例18周期で得られた240個のCOCを対象とした。
解析項目と解析方法	<p>【解析項目】</p> <p>Split 媒精症例を対象に3種類の媒精方法に振り分け、治療年齢、精液所見、採卵数、受精結果、胚発育から得られた胚を用いた移植成績および臨床転帰を比較する。</p> <p>【解析方法】</p> <p>統計解析ソフト EZR または python による統計を実施する。 解析結果は p 値が 0.05 未満の場合を有意差ありとする。</p>
研究結果の公表方法	第44回 日本受精着床学会での発表、論文発表
他機関へのデータ提供	無し

②

研究の名称	新鮮胚盤胞移植は凍結融解胚盤胞移植と同程度の臨床成績を得られるか
研究登録番号	6102-260226
研究機関名	京野アートクリニック高輪
研究責任者	京野アートクリニック高輪 医師部 京野 廣一
研究代表者	京野アートクリニック高輪 培養部 星野 世葉
研究期間	2024年10月から2025年11月
利用または提供を開始する予定日	倫理委員会での承認以降
研究の背景	凍結融解胚移植(FET)は治療計画の柔軟性を有するが、母児の周産期リスクが報告されている。一方、新鮮胚移植(ET)は卵巣過剰刺激症候群(OHSS)のリスクを懸念する必要があるものの、より短期間での妊娠成立が期待される。本研究では、培養5日目の新鮮胚盤胞移植(BT)の有効性を後向視的に検討する。
研究の方法と意義	<p>【研究の方法】</p> <p>電子カルテ、データベース(ファイルメーカー)に記録されている、採卵・媒精・胚発育・移植の結果をデータ収集して解析を実施する。</p> <p>【研究の意義】</p> <p>本邦では依然としてFETが主流であるが、BTはtime to pregnancy短縮への寄与が期待されることから、その有効性を再考すべき時期にあると考える。</p>
研究対象者	2024年10月から2025年11月にBTを計画した72症例78周期及び同一期間で採卵し、培養5日目で凍結融解胚盤胞移植を実施した138症例194周期
解析項目と解析方法	<p>【解析項目】</p> <p>BTを実施した患者を対象に、夫妻の年齢、余剰胚凍結個数、培養時間116h,120hでの胚盤胞直径、良好胚盤胞率、AHAの有無、採卵後のhCG追加投与が妊娠転帰に与える影響および同一期間で採卵し、培養5日目で凍結融解胚盤胞移植を実施した138症例194周期との妊娠転帰を比較する。</p> <p>【解析方法】</p> <p>統計解析ソフトEZRによる統計を実施する。</p> <p>解析結果はp値が0.05未満の場合を有意差ありとする。</p>
研究結果の公表方法	第44回日本受精着床学会での発表、論文発表
他機関へのデータ提供	無し

③

研究の名称	初期胚における iDAScore の変動値を考慮した妊娠予測精度の検討
研究登録番号	6103-260226
研究機関名	京野アートクリニック高輪
研究責任者	京野アートクリニック高輪 医師部 京野 廣一
研究代表者	京野アートクリニック高輪 培養部 大平 凜
研究期間	実施許可日～2027年3月31日
利用または提供を開始する 予定日	倫理委員会での承認以降
研究の背景	iDAScore version2 では Day2・3 の初期胚スコアも算出可能となった。本研究では各培養日数のスコアと Day2・3 のスコア変動値(ScoreF)を併用した妊娠予測モデルの有用性を検討する
研究の方法と意義	<p>【研究の方法】</p> <p>これまでの診療において保管されている診療録や妊娠の転帰、iDAScore のスコアリング等についてデータを収集して解析を実施する。本研究に伴う新たな検査等は必要としない。</p> <p>【研究の意義】</p> <p>よりよい妊娠予測モデルを探索することで、より妊娠に繋がりやすい胚選択が可能となると考えられる</p>
研究対象者	2020年1月から2025年7月に2PN確認後に各培養日数でのiDAScoreが算出できた胚
解析項目と解析方法	<p>【解析項目】</p> <p>移植症例の治療時年齢、臨床転帰、iDAScore</p> <p>【解析方法】</p> <p>得られたデータに関して、AUC を計算する。</p>
研究結果の公表方法	受精着床学会等での学会発表
他機関へのデータ提供	無し

④

研究の名称	凍結融解胚盤胞移植における胚再拡張を指標とした回復培養時間の検討
研究登録番号	6104-260226
研究機関名	京野アートクリニック仙台
研究責任者	京野アートクリニック仙台 医師部 笠原 佑太
研究代表者	京野アートクリニック仙台 培養部 今井 さくら
研究期間	実施許可日～2027年3月31日
利用または提供を開始する予定日	倫理委員会での承認以降
研究の背景	凍結胚盤胞融解後の回復培養時間(2h vs 4h)が、胚の拡張性と臨床成績に与える影響を検討する。
研究の方法と意義	<p>【研究の方法】</p> <p>これまでの診療において、カルテおよびファイルメーカー保管されている診療録、培養成績、採卵・移植の結果、妊娠の転帰等についてデータを収集して解析を実施する。本研究に伴う新たな検査等は必要としない。</p> <p>【研究の意義】</p> <p>凍結胚盤胞融解後の回復培養時間の違いが胚の拡張性と臨床成績に与える影響について比較し、妊娠成績向上のために適した回復培養時間を検討する。</p>
研究対象者	2020年1月から2024年12月に単一凍結融解胚盤胞移植を施行した3286症例 5348周期
解析項目と解析方法	<p>【解析項目】</p> <p>対象症例の平均年齢、BMI、AMH、移植回数、移植胚の融解直後および回復培養後の評価、臨床転帰</p> <p>【解析方法】</p> <p>得られたデータに関して、統計解析ソフト EZR を用いて解析を行う。統計解析の結果、p 値が 0.05 未満の場合を有意とする。</p>
研究結果の公表方法	受精着床学会等での学会発表
他機関へのデータ提供	無し

⑤

研究の名称	胚培養液への高濃度ヒアルロン酸の添加が胚発生および臨床成績に与える影響
研究登録番号	6105-260226
研究機関名	京野アートクリニック仙台
研究責任者	京野アートクリニック仙台 医師部 笠原 佑太
研究代表者	京野アートクリニック仙台 培養部 川口 菜摘
研究期間	実施許可日～2027年3月31日
利用または提供を開始する予定日	倫理委員会での承認以降
研究の背景	胚培養液の高濃度ヒアルロン酸培養液が胚発生と臨床成績に与える影響を検討する。
研究の方法と意義	<p>【研究の方法】 これまでの診療において、カルテに保管されている診療録や使用した薬剤、血液検査等の結果、移植の結果、妊娠の転帰等についてデータを収集して解析を実施する。本研究に伴う新たな検査等は必要としない。</p> <p>【研究の意義】 胚培養液の高濃度のヒアルロン酸の添加が培養成績、臨床成績に与える影響を検討し、高濃度ヒアルロン酸の有効性について評価する。</p>
研究対象者	2017年7月～2026年1月に採卵を行った、成熟卵子が4個以上得られた患者を対象とし、OVITで培養した1274周期と、OVITに0.5 mg/mLのヒアルロン酸を添加した HiGROW OVIT HA で培養した1261周期を比較する。
解析項目と解析方法	<p>【解析項目】 対象症例の平均年齢、AMH、培養成績と臨床成績。</p> <p>【解析方法】 得られたデータに関して、統計解析ソフト EZR を用いて解析を行う。統計解析の結果、p値が0.05未満の場合を有意とする。</p>
研究結果の公表方法	ASRM2026での発表
他機関へのデータ提供	無し

⑥

研究の名称	卵巣組織凍結目的の低温搬送システムの性能評価と臨床症例における温度管理の実際
研究登録番号	6106-260226
研究機関名	日本卵巣組織凍結保存センター(HOPE)
研究責任者	京野アートクリニック高輪 京野 廣一
研究代表者	京野アートクリニック仙台 宮本 若葉
研究期間	実施許可日～2027年3月31日
利用または提供を開始する予定日	倫理委員会での承認以降
研究の背景	欧州では卵巣組織凍結(OTC)は、限られた凍結保存センターに摘出卵巣を運搬して凍結保存を行っており、運搬は最大 24 時間程度としている。本邦では、OTC 実施可能施設が限局しており、一部地域では OTC を受けることが困難である。当院では欧州と同じシステムを用い、摘出病院から卵巣を 4℃で運搬しているが、その運搬に用いる BOX と保冷材の精度確認が必要である。
研究の方法と意義	<p>【研究の方法】</p> <p>搬送 BOX1 個に対し 6 個 1 組の保冷剤を設置し、保冷材の上にデータロガーを接着させ、30 時間の温度モニタリングにより性能確認試験を行った。臨床時の摘出卵巣の受取および組織搬送を想定し、試験開始から 2 時間後に 1 度 BOX を開封し、直後に再閉鎖した条件でモニタリングを行う(A 群、n=5)。また、一度も開封しなかった BOX をコントロール(B 群、n=5)とする。</p> <p>また、卵巣摘出病院から当院(東京都)に低温下で卵巣組織を搬送し、温度モニタリングを行った 23 症例において、搬送時の温度モニタリング結果を解析する。卵巣組織の一部をサンプリングし、カルセイン染色にて卵胞の生存確認を行う。</p> <p>【研究の意義】</p> <p>OTC 目的の組織運搬における温度管理が安定していることにより、医療施設、患者への組織運搬への安心材料となる可能性がある。また、OTC 実施が拡充する可能性もある。</p>
研究対象者	2017 年から 2025 年までに OTC 目的で卵巣組織を搬送した 23 症例
解析項目と解析方法	<p>【解析項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データロガーを用いた温度モニタリング結果 ・OTC 症例における患者背景、運搬時間、温度管理 <p>【解析方法】</p> <p>なし(観察研究のため)</p>
研究結果の公表方法	第 16 回日本がん・生殖医療学会学術集会での発表
他機関へのデータ提供	無し

⑦

研究の名称	排卵周期での凍結融解胚盤胞移植における子宮内膜調整法の違いが臨床成績に与える影響についての検討
研究登録番号	6107-260226
研究機関名	京野アートクリニック仙台
研究責任者	京野アートクリニック仙台 医師部 笠原 佑太
研究代表者	京野アートクリニック仙台 診療支援部 中條 友紀子
研究期間	実施許可日～2027年3月31日
利用または提供を開始する予定日	倫理委員会での承認以降
研究の背景	妊娠予後、母子の安全性の観点から排卵周期での凍結融解胚移植が増えている。しかし、自然排卵周期と修正排卵周期による子宮内膜調整法の違いが臨床成績に与える影響について明らかになっていない。
研究の方法と意義	<p>【研究の方法】</p> <p>これまでの診療において、カルテに保管されている診療録や使用した薬剤、血液検査等の結果、移植の結果、妊娠の転帰等についてデータを収集して解析を実施する。本研究に伴う新たな検査等は必要としない。</p> <p>【研究の意義】</p> <p>自然周期、modified-自然周期、レトロゾール周期によるそれぞれの凍結融解胚移植後の妊娠成績を比較検討することで、本症例の治療の予後予測や知見の拡充に繋がると考えられる。</p>
研究対象者	2022年4月から2025年12月までに単一凍結融解胚盤胞移植を施行した自然周期 798 周期、modified-自然周期 340 周期、レトロゾール周期 536 周期
解析項目と解析方法	<p>【解析項目】</p> <p>単一凍結融解胚盤胞移植時の妻の年齢、BMI、AMH 値、喫煙歴、不妊期間、妊娠歴、過去移植回数、良好胚率、再拡張率、移植時子宮内膜厚、高濃度ヒアルロン酸培養液の使用有無、移植成績及び臨床転帰</p> <p>【解析方法】</p> <p>得られたデータに関して、統計解析ソフト EZR を用いて実施する。 統計解析の結果、p 値が 0.05 未満の場合を有意とする。</p>
研究結果の公表方法	生殖医学会等での学会発表、論文発表
他機関へのデータ提供	無し

⑧

研究の名称	iDAScore v1.0 と v2.0 スコア別の出生児所見の検討
研究登録番号	6108-20260226
研究機関名	京野アートクリニック仙台
研究責任者	京野アートクリニック仙台 医師部 笠原 佑太
研究代表者	京野アートクリニック仙台 培養部 門間 里奈
研究期間	実施許可日～2027年3月31日
利用または提供を開始する予定日	倫理委員会での承認以降
研究の背景	iDAScore は臨床妊娠を予測するツールとして広く利用されているが、スコアによって有意差はないものの男児が増加傾向にあるという報告がある。本研究では v1.0 と v2.0 のスコアを用いて当院における出生時の所見をスコアごとに比較することを目的として検討を行う。
研究の方法と意義	<p>【研究の方法】</p> <p>iDAScore を算出した胚で出産に至ったものをピックアップする。その後、当院で行っている出生時アンケートの情報をもとに、身長、体重、性別、先天異常の有無などをスコアごとに比較する。また、iDAScore は v1.0、v2.0 とバージョンがあるが、両バージョンについて比較検討を行う。</p> <p>【研究の意義】</p> <p>iDAScore を参考に移植胚を選出する場合もあるが、このスコアが実際の出生時の所見に関係するかどうかはまだ明らかになっていない。出生時の所見とスコアとの間に関係性があるかを検討する。</p>
研究対象者	2017年9月から2025年4月までに当院で移植を行った症例
解析項目と解析方法	<p>【解析項目】</p> <p>対象症例の年齢、BMI、AMH、胚の iDAScore、出生時の所見</p> <p>【解析方法】</p> <p>得られたデータに関して、統計解析ソフト EZR を用いて解析を行う。統計解析の結果、p 値が 0.05 未満の場合を有意とする</p>
研究結果の公表方法	IVF 学会等での学会発表
他機関へのデータ提供	無し

⑨

研究の名称	PGT-A、PGT-SR を実施した症例の臨床成績に関する検討
研究登録番号	6109-20260226
研究機関名	京野アートクリニック高輪 京野アートクリニック仙台 京野アートクリニック盛岡
研究責任者	京野アートクリニック高輪 医師部 京野 廣一 京野アートクリニック仙台 医師部 笠原 佑太 京野アートクリニック盛岡 医師部 熊谷 仁
研究代表者	京野アートクリニック仙台 培養部 門間 里奈
研究期間	実施許可日～2027年3月31日
利用または提供を開始する予定日	倫理委員会での承認以降
研究の背景	PGT-A、PGT-SR を実施した症例の適応ごとの妊娠率や各判定の割合など、仙台、高輪、盛岡のデータを総合的にまとめる。
研究の方法と意義	【研究の方法】 仙台院、高輪院、盛岡院で Biopsy を実施した症例の PGT 適応、日産婦スコア、妊娠率などについて総合的に解析を実施する。 【研究の意義】 過去 4 年間の3施設でのデータを元に解析を行うことで、PGT の実際、臨床転帰などの知見が深まると考えられる。
研究対象者	2020年4月から2024年12月までに仙台院、高輪院、盛岡院で Biopsy を実施した症例
解析項目と解析方法	【解析項目】 対象症例の BMI、AMH、生検時年齢、凍結時年齢、移植時年齢、PGT の適応、生検後の胚の日産婦スコア、倍数性、移植後の転帰 【解析方法】 得られたデータに関して、統計解析ソフト R を用いて実施する。統計解析の結果、p 値が 0.05 未満の場合を有意とする。
研究結果の公表方法	論文発表
他機関へのデータ提供	無し

⑩

研究の名称	卵子の形態評価とその後の出生児への影響
研究登録番号	6110-260226
研究機関名	京野アートクリニック仙台
研究責任者	京野アートクリニック仙台 医師部 笠原 佑太
研究代表者	京野アートクリニック仙台 培養部 熱海 タ子
研究期間	実施許可日～2027年3月31日
利用または提供を開始する予定日	倫理委員会での承認以降
研究の背景	顕微授精(ICSI)を施行する際、卵子の形態観察も同時に行われているが、同一症例・周期であっても多岐に渡ることが多い。またこの卵子の形態は網羅的に比較、検討、さらに出生時まで検討されている報告は多くはない。
研究の方法と意義	<p>【研究の方法】</p> <p>これまでの診療において、カルテに保管されている診療録、培養成績、採卵・移植の結果、妊娠の転帰や出生時の情報などについてデータを収集して解析を実施する。本研究に伴う新たな検査などは必要としない。</p> <p>【研究の意義】</p> <p>これらを比較、検討することは、形態の発生要因の解明や由来胚を移植する患者や出生している児への安心につながると考えられる。</p>
研究対象者	2017年1月から2025年5月までに、当院で採卵し移植を行った5420症例
解析項目と解析方法	<p>【解析項目】</p> <p>対象症例の診療時の年齢、BMI、AMH、卵巣刺激による採卵と胚培養の成績、得られた胚を用いた移植成績および臨床転帰、出生時の情報</p> <p>【解析方法】</p> <p>得られたデータに関して、統計解析ソフト EZR を用いて解析を行う。統計解析の結果、p値が0.05未満の場合を有意とする。</p>
研究結果の公表方法	国内学会での学会発表、または論文発表
他機関へのデータ提供	無し

⑪

研究の名称	若年乳がん患者の妊孕性温存に関する共有意思決定支援(症例報告)
研究登録番号	6111-260226
研究機関名	京野アートクリニック高輪
研究責任者	京野アートクリニック高輪 京野 廣一
研究代表者	京野アートクリニック高輪 越智 将航
研究期間	2026年2月28日
利用または提供を開始する予定日	倫理委員会での承認以降
研究の背景	<p>日本におけるがん患者は年々増加傾向にあり、それと共に若年世代のがん患者、女性においては特に乳がん患者も増加傾向にある。</p> <p>がん患者の多くは、急ながんの発覚によって、がん治療医および医療関係者からの情報提供によって妊孕性温存を検討することとなり、十分な情報を整理できないまま意思決定をせざるを得ない状況におかれることも少なくないため、共有意思決定支援の重要性が叫ばれている。</p>
研究の方法と意義	<p>【研究の方法】 当院における乳がん症例に関する症例報告を実施する。これまでの診療録を後方視的に精査し、患者の臨床転帰や治療歴を確認する。特に、カウンセリングや情報提供の中で見られた患者の心理描写や悩みなどについて精査する。</p> <p>【研究の意義】 抗がん剤治療を伴う乳がん患者における意思決定の変遷をたどることによって、患者目線での悩みや感情の揺れ動き、医療者における適切な患者へのかかわり方に関して報告する。</p>
研究対象者	高輪院において妊孕性温存を実施した1症例
解析項目と解析方法	<p>【解析項目】 診療録および治療記録からデータを取得する。</p> <p>【解析方法】 なし(観察研究のため)</p>
研究結果の公表方法	第23回日本生殖心理学会学術集会での発表
他機関へのデータ提供	無し

⑫

研究の名称	原疾患治療前の凍結卵巣組織を使用せず、生殖補助医療で妊娠した中枢神経系胚細胞腫瘍の一症例(症例報告)
研究登録番号	6112-260226
研究機関名	京野アートクリニック高輪
研究責任者	京野アートクリニック高輪 医師部 京野 廣一
研究代表者	京野アートクリニック高輪 培養部 岡田 綾加
研究期間	実施許可日～2027年3月31日
利用または提供を開始する予定日	倫理委員会での承認以降
研究の背景	ジャーミノーマは放射線療法や化学療法に対して高い感受性を示し、治療成績は良好で、5年生存率は90%を超える治療成績が報告されている。若年がん患者の妊孕性温存は重要な課題とされており、妊孕性温存の実施が推奨されている。
研究の方法と意義	<p>【研究の方法】</p> <p>頭蓋内ジャーミノーマ症例に関する治療歴や妊孕性温存の実施を後方視的に検討する。これまでの診療録からデータを抽出し、内容を精査する。</p> <p>【研究の意義】</p> <p>頭蓋内ジャーミノーマに関する妊孕性温存の報告は少なく、こうした治療の実際と課題を示すことで症例を蓄積する事が出来る貴重な症例と考えられる。</p>
研究対象者	高輪院において妊孕性温存を実施した1症例
解析項目と解析方法	<p>【解析項目】</p> <p>診療録および治療記録からデータを取得する。</p> <p>【解析方法】</p> <p>なし(観察研究のため)</p>
研究結果の公表方法	第16回日本がん・生殖医療学会学術集会での発表
他機関へのデータ提供	無し

⑬

研究の名称	非遠心型精子処理デバイス(LensHooke CA0)を用いた培養成績及び臨床成績の検討
研究登録番号	6113-260226
研究機関名	京野アートクリニック盛岡 京野アートクリニック仙台 京野アートクリニック高輪
研究責任者	京野アートクリニック盛岡 医師部 熊谷 仁
研究代表者	京野アートクリニック盛岡 培養部 中村 祐介
研究期間	実施許可日～2027年3月31日
利用または提供を開始する予定日	倫理委員会での承認以降
研究の背景	LensHooke CA0 Sperm Separation Device はマイクロ流体技術を用いた非遠心型精子処理デバイスであり、遠心処理を行わずに短時間で良好運動精子を回収可能であるが、CA0 を用いた国内報告例は少ない。
研究の方法と意義	<p>【研究の方法】</p> <p>これまでの診療において、カルテおよびファイルメーカーに保管されている診療録や培養成績、採卵・移植の結果、妊娠の転帰等についてデータを収集して解析を実施する。本研究に伴う新たな検査等は必要としない。</p> <p>【研究の意義】</p> <p>マイクロ流体技術を用いた非遠心型精子処理デバイスによる処理を行った症例の培養成績、妊娠率を検討することで、本症例の治療の予後予測や知見の拡充に繋がると考えられる。</p>
研究対象者	2019年7月から2025年12月までに盛岡院、仙台院、高輪院で採卵を行った症例
解析項目と解析方法	<p>【解析項目】</p> <p>調整前の精液所見および遠心法で調整した検体所見と CA0 を用いて調整した検体所見の比較、BMI、AMH、卵巣刺激、培養成績、移植成績及び臨床転帰</p> <p>【解析方法】</p> <p>得られたデータに関して、統計解析ソフト R を用いて実施する。統計解析の結果、p 値が 0.05 未満の場合を有意とする。</p>
研究結果の公表方法	生殖医学会等での学会発表、論文発表
他機関へのデータ提供	無し

⑭

研究の名称	精索静脈瘤と PGT-A の関連性
研究登録番号	6114-260226
研究機関名	京野アートクリニック高輪 京野アートクリニック仙台
研究責任者	京野アートクリニック高輪 医師部 京野 廣一
研究代表者	京野アートクリニック高輪 医師部 田井 俊宏
研究期間	実施許可日～2027年3月31日
利用または提供を開始する予定日	倫理委員会での承認以降
研究の背景	DFI と PGT-A の結果による関連性は低いとされており、また精索静脈瘤と DFI は深く関連するとされる。しかしながら精索静脈瘤と PGT-A の関連性について述べる論文は少ない。今回、PGT-A と精索静脈瘤の有無、または治療成績について検討する。
研究の方法と意義	【研究の方法】 PGT-A を実施した症例において、精索静脈瘤の有無、その治療の有無で妊娠成績に差が発生するか検討する。なお、本研究では仙台院、高輪院のデータを総合的にまとめる。 【研究の意義】 精索静脈瘤と PGT-A の関連性について述べている論文は少なく、本研究によってその点における症例知見の蓄積が進むものと考えられる。
研究対象者	2020年4月から2024年12月までに仙台院、高輪院、盛岡院で Biopsy を実施した症例のうち精索静脈瘤と診断があるものとならないもの、治療済みの症例
解析項目と解析方法	【解析項目】 本疾患を有する症例の治療時年齢、精索静脈瘤の状態、治療の有無、精液所見の動態、妻の治療時年齢・AMH・BMI・卵巣刺激による採卵と胚培養成績、PGT-A の結果、得られた胚を用いた移植成績及び臨床転帰 【解析方法】 得られたデータに関して、統計解析ソフト R を用いて実施する。統計解析の結果、p 値が 0.05 未満の場合を有意とする。
研究結果の公表方法	生殖医学会等での学会発表、論文発表
他機関へのデータ提供	なし

⑮

研究の名称	熱波等の極端な気温変化の精液所見と ART への影響の検討
研究登録番号	6115-260226
研究機関名	京野アートクリニック高輪 京野アートクリニック仙台
研究責任者	京野アートクリニック高輪 医師部 京野 廣一
研究代表者	京野アートクリニック高輪 医師部 田井 俊宏
研究期間	実施許可日～2027年3月31日
利用または提供を開始する予定日	倫理委員会での承認以降
研究の背景	日本の気温が上昇傾向であり、35 度を超える猛暑日が毎年観測されている。高熱の精巣の影響は以前より論じられているが、熱波については生活習慣等で回避することが難しい。熱波により精子形成に影響を及ぼすのかを検討する
研究の方法と意義	<p>【研究の方法】</p> <p>盛岡、仙台、高輪で周辺気温差を考慮し、熱波が観察された期間の直後、30日、60日、90日の期間で測定された精液所見の差異を検討する。また、地域によっての気温差で精液所見に差が出るか、ART への成績の影響を調査する。</p> <p>【研究の意義】</p> <p>精子に悪影響を与える要因を検討することで、新たな知見の蓄積や患者への説明根拠となる資料作成へ繋がる可能性がある。</p>
研究対象者	2024年1月から2025年12月までに仙台院、高輪院、盛岡院で精液検査を行った20-37歳の男性
解析項目と解析方法	<p>【解析項目】</p> <p>公的に公表されている気象データを用い、その測定時期に測定した患者の精液所見のデータの変化</p> <p>【解析方法】</p> <p>得られたデータに関して、統計解析ソフト R を用いて実施する。統計解析の結果、p 値が 0.05 未満の場合を有意とする。</p>
研究結果の公表方法	生殖医学会等での学会発表、論文発表
他機関へのデータ提供	無し

研究の名称	若年性乳がん患者における妊孕性温存の臨床成績
研究登録番号	6116-260226
研究機関名	京野アートクリニック高輪 京野アートクリニック仙台 京野アートクリニック盛岡
研究責任者	京野アートクリニック高輪 医師部 京野 廣一
研究代表者	京野アートクリニック高輪 医師部 京野 廣一
研究期間	実施許可日～2027年3月31日
利用または提供を開始する予定日	倫理委員会での承認以降
研究の背景	女性のがん罹患症例のうち、乳がんはもっと罹患率の高いがんであり、治療法等の知見は拡充しているものの、妊孕性温存に関する知見や情報や未だ十分とは言えない。本研究は、当院において乳がん患者が妊孕性温存を希望し、卵子・受精卵・卵巣組織凍結を実施した後にどの程度利用されているかを調査する。また、それらが利用された場合の妊娠継続率や生産率等を精査する。
研究の方法と意義	<p>【研究の方法】</p> <p>これまでの診療において、カルテに保管されている診療録や血液検査等の結果、手術記録、採卵・移植の結果、妊娠の転帰等についてデータを後方視的に収集して解析を実施する。本研究に伴う新たな検査等は必要としない。</p> <p>【研究の意義】</p> <p>がん患者にとって妊孕性温存の選択肢は非常に重要であり、将来の患者の QOL に直結する。本研究の知見が得られる事で、がん患者やがん治療病院への情報提供・妊孕性温存の啓発に利用可能なデータ取得に繋がると考えられる。</p>
研究対象者	2009年から2025年まで当院にて妊孕性温存を目的として卵子・受精卵・卵巣組織凍結を実施した乳がん罹患症例
解析項目と解析方法	<p>【解析項目】</p> <p>乳がん罹患した症例の治療時年齢・BMI・AMH・卵巣刺激による採卵と胚培養成績・得られた胚を用いた移植成績・卵巣組織凍結の結果及びそれらの臨床転帰</p> <p>【解析方法】</p> <p>得られたデータに関して、統計解析ソフト R を用いて実施する。統計解析の結果、p 値が 0.05 未満の場合を有意とする。</p>
研究結果の公表方法	学会発表、論文発表
他機関へのデータ提供	無し

研究の名称	骨盤照射症例に対する腹腔内への凍結融解卵巢組織移植(OTT)ならびに子宮内胚移植(ET)は適応か
研究登録番号	6117-260226
研究機関名	京野アートクリニック盛岡 京野アートクリニック仙台 京野アートクリニック高輪
研究責任者	京野アートクリニック盛岡 医師部 熊谷 仁
研究代表者	京野アートクリニック盛岡 培養部 中村 祐介
研究期間	実施許可日～2027年3月31日
利用または提供を開始する予定日	倫理委員会での承認以降
研究の背景	骨盤への放射線照射既往のある女性は子宮内膜菲薄化、血流や伸展性の低下を来し、不妊や流産、早産、低出生体重児のリスク増加と関連する。一方、正常妊娠・分娩例の報告もあり、妊娠継続困難な放射線線量のコンセンサスは得られていない。
研究の方法と意義	【研究の方法】 これまでの診療において、カルテおよびファイルメーカーに保管されている診療録や採卵・移植の結果、妊娠の転帰等についてデータを収集して解析を実施する。本研究に伴う新たな検査等は必要としない。 【研究の意義】 骨盤照射既往がある女性の胚移植、OTT、妊娠転帰、出生児について検討することで、本症例の治療の予後予測や知見の拡充に繋がると考えられる。
研究対象者	2019年7月から2025年12月までに盛岡院、仙台院、高輪院で採卵・胚移植・卵巢組織凍結を行った症例
解析項目と解析方法	【解析項目】 原疾患治療歴、卵巢組織凍結、BMI、AMH、移植成績及び臨床転帰 【解析方法】 得られたデータに関して討論し、治療戦略について検討する。
研究結果の公表方法	日本受精学会等での学会発表、論文発表
他機関へのデータ提供	無し

研究の名称	東京都助成金制度開始前後におけるノンメディカル卵子凍結の動向と融解後成績の検討
研究登録番号	6118-260226
研究機関名	京野アートクリニック高輪
研究責任者	京野アートクリニック高輪 京野 廣一
研究代表者	京野アートクリニック仙台 服部 裕充
研究期間	実施許可日～2027年4月1日
利用または提供を開始する予定日	倫理委員会での承認以降
研究の背景	晩婚化・女性の社会進出に伴い、将来の妊娠機会を温存する手段としてノンメディカル卵子凍結が注目されている。しかし高額な自費診療が普及の障壁であった。東京都は助成制度を導入し需要増加が示唆されるが、その実施動向および融解後成績への影響は十分に検討されていない。
研究の方法と意義	<p>【研究の方法】</p> <p>ノンメディカル卵子凍結に対する東京都の助成金制度開始前後において、当院の卵子凍結実施患者の年齢分布などから、助成金が患者動向に影響するか精査する。また、これまでに挙児希望を目的に卵子融解を行った症例について、患者背景や臨床成績の解析を行い、ノンメディカル卵子凍結の有用性を評価する。</p> <p>【研究の意義】</p> <p>助成金制度の開始に伴ってどのような変化が起こっているかを把握し、治療成績や治療転帰のデータを集積することで女性の社会進出等の課題解決に繋がるデータ把握を試みる。</p>
研究対象者	2014年1月から2025年12月までにノンメディカル卵子凍結を行った587症例、814周期
解析項目と解析方法	<p>【解析項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年ごとの卵子凍結実施周期数、患者年齢 ・卵子融解実施症例の年齢、生存率、胚発生率、臨床成績 <p>【解析方法】</p> <p>なし(観察研究のため)</p>
研究結果の公表方法	第44回 日本受精着床学会での発表、論文発表
他機関へのデータ提供	無し

研究の名称	クラインフェルター症候群の男性に対する精子回収率と妊娠転帰
研究登録番号	6202-260404
研究機関名	京野アートクリニック高輪 京野アートクリニック仙台
研究責任者	京野アートクリニック高輪 医師部 京野 廣一
研究代表者	京野アートクリニック高輪 研究支援部 竹重 勇哉
研究期間	実施許可日～2027年3月31日
利用または提供を開始する予定日	倫理委員会での承認以降
研究の背景	クラインフェルター症候群は男性の性染色体が通常より1本多いXXY等になる先天的な染色体異常であり、乏精子症や無精子症など、男性不妊の一因となりうる。ただ、この臨床所見には個人差があり、どの程度の症例が精子回収が可能か、といった知見はまだ多くない。
研究の方法と意義	【研究の方法】 これまでの診療において、カルテに保管されている診療録や血液検査等の結果、手術記録、採卵・移植の結果、妊娠の転帰等についてデータを収集して解析を実施する。本研究に伴う新たな検査等は必要としない。 【研究の意義】 クラインフェルター症候群のTESEによる精子回収率及びその後の妊娠成績を検討することで、本症例の治療の予後予測や知見の拡充に繋がると考えられる。
研究対象者	2012年4月から2026年3月までの間に、当院を受診したクラインフェルター症候群67例
解析項目と解析方法	【解析項目】 本疾患を有する症例の治療時年齢・BMI・TESEの結果、妻の治療時年齢・AMH・BMI・卵巣刺激による採卵と胚培養成績・得られた胚を用いた移植成績及び臨床転帰 【解析方法】 得られたデータに関して、統計解析ソフト R を用いて実施する。統計解析の結果、p値が0.05未満の場合を有意とする。
研究結果の公表方法	生殖医学会等での学会発表、論文発表
他機関へのデータ提供	無し

研究の名称	常染色体一性染色体の転座症例報告
研究登録番号	6203-260404
研究機関の名称	京野アートクリニック高輪 京野アートクリニック仙台
研究責任者氏名	京野アートクリニック高輪 医師部 京野 廣一
研究代表者氏名	京野アートクリニック高輪 研究支援部 竹重 勇哉
研究期間	実施許可日～2027年3月31日
利用または提供を開始する予定日	倫理委員会での承認以降
研究の背景	男性の性染色体の構造異常には欠失や逆位など多様なパターンが存在するが、転座は比較的稀であり、その構造の特異性から男性不妊となりやすい。ただし、性染色体に転座を持つ症例においても出産報告が挙げられることから、それらの症例の情報をまとめ、転座による切断位置と妊孕能の関係性について検討する。
研究の方法と意義	【研究の方法】 これまでの診療において、カルテに保管されている診療録や血液検査等の結果、手術記録、採卵・移植の結果、妊娠の転帰等についてデータを収集して解析を実施する。本研究に伴う新たな検査等は必要としない。 【研究の意義】 常染色体一性染色体の転座を持つ症例は稀であり、それらの臨床所見や臨床転帰を検討することで、本症例の予後予測や知見の拡充に繋がると考えられる。
研究対象者	2012年4月から2026年3月までの間に、当院を受診した常染色体一性染色体に転座を持つ7症例
解析項目と解析方法	【解析項目】 本疾患を有する症例の治療時年齢・BMI・TESEの結果、妻の治療時年齢・AMH・BMI・卵巣刺激による採卵と胚培養成績・得られた胚を用いた移植成績及び臨床転帰 【解析方法】 得られたデータに関して、統計解析ソフト R を用いて実施する。統計解析の結果、p値が0.05未満の場合を有意とする。
研究結果の公表方法	遺伝カウンセリング学会等での学会発表、論文発表
他機関へのデータ提供	無し

■個人情報に関する取扱い

収集した診療情報(症状経過、処方内容、検査数値等)は個人が特定されない形にして統計解析等の処理を行います。また、これらの研究結果は論文発表や学会等への報告に使用させていただく場合がございます。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則り、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で研究を進めてまいります。試料・情報の管理責任者は下記になります。

京野アートクリニック高輪 竹重 勇哉
京野アートクリニック仙台 中條 友紀子
京野アートクリニック盛岡 中村 祐介

個人情報は他のコンピュータと切り離れたコンピュータに記録し、厳重に保管します。学会・論文発表にご協力いただけない場合はいつでもお申し出ください。お断り頂いても不利益となることはありません。お申し出を頂いた時点で解析が完了して匿名化された後、あるいは学会・論文等で公表済みのデータについては対応できない場合があります。

■相談窓口について

この研究についてもっと詳しく知りたいとき、研究への利用停止を希望される時、何かわからないことがございましたら、下記の担当医師または相談窓口にご相談下さい。

当院での相談窓口

京野アートクリニック高輪

TEL:03-6408-4124

担当医師:京野アートクリニック高輪 院長 京野 廣一

京野アートクリニック仙台

TEL:022-722-8841

担当医師:京野アートクリニック仙台 院長 笠原 佑太

京野アートクリニック盛岡

TEL:019-613-4124

担当医師:京野アートクリニック盛岡 院長 熊谷 仁